

近畿高体連サッカー部  
公式記録

会場責任者	主審サイン
村井 健太	奥村 勇磨

大会名	平成30年度 第71回近畿高等学校サッカー選手権大会<男子>	2回戦	⑪	平成30年6月17日 (日)	競技時間	70分	記録者	松原 正志
会場	J-GREEN堺 S3	天候	晴	10 : 00	観衆	500人		

主審	副審	第4の審判員
奥村 勇磨 氏	A1 平野 裕一朗 氏 A2 尾上 顕大 氏	前田 貴史 氏

【チーム名】	kick off	1 前半	0	【チーム名】	kick off
阪南大学 高等学校		1 後半	0	市立尼崎 高等学校	
(大阪府2位)	先			先	(兵庫県2位)

背番号																						
PK戦																						

交代時間		シフト (得点者は*印)		学	選手名	背番号	位置	背番号	選手名	学	シフト (得点者は*印)		交代時間	
分	分	後半	前半	年						年	前半	後半	分	
				3	太田 航生	1	GK	GK	1	山下 颯太	3			分
52				3	杉田 雅紀	4	DF	DF	②	関 飛龍	3			分
				3	萬金 祐太	5	DF	DF	4	前野 恵吾	3			分
				3	大西 悠雅	15	DF	DF	6	清水 泰雅	3			59 分
63				3	岸田 悠希	7	MF	DF	17	羽田 雄飛	3			分
60		1	1	3	中村 成龍	⑩	MF	MF	5	日高 啓太	3			45 分
				3	山領 麗央	18	MF	MF	8	玉城 颯太	3			分
70		3		3	東野 舜馬	20	MF	MF	9	外山 魁晟	3			45 分
			*	2	清藤 新太	22	MF	MF	16	広沢 季陽	2			分
HT				3	島田 龍之介	9	FW	FW	10	上野 輝人	3		1	分

交代選手	46 分		* 1	1	3	榎 悠輔	11	FW	FW	11	庄 一真	3		1	分
------	------	--	-----	---	---	------	----	----	----	----	------	---	--	---	---

番	分				3	選手名	背番号	位置	背番号	選手名	3				分
					3	岡村 龍樹	21	GK	GK	12	山口 憲史郎	3			分
4					3	大内 陵弥	2	DF	DF	3	原 大知	3			9 分
7					3	角 晃輔	8	MF	DF	18	奥村 芽生	2			6 分
11					3	黒木 龍二	13	MF	DF	19	岡本 優真	2			分
10					3	高津 成央	14	MF	MF	7	渡辺 博樹	3			5 分
20					3	富高 龍	19	MF	MF	13	高下 禎人	3			分
					3	和田 育	6	FW	FW	15	古川 智紀	3			分
9					3	中谷 玲斗	17	FW							分

合計	0	0	5	5	小計	10	合計	シュート数	合計	2	小計	0	2	0	0					
警・退	時間	番	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	警・退	時間	番	氏名	事由
	分				3			0	3	G K	5	4			9		分			
	分				4			3	1	C K	0	1			1		分			
	分				5			3	2	直接 FK	0	6			6		分			
	分				3			1	2	間接 FK	2	0			2		分			
	分				0			0	0	P K	0	0			0		分			

得点	時間	チーム	得点者	アシスト	得点経過	
	19 分	阪南大学	清藤 新太	東野 舜馬	(中央) ⑨ → (中央) ⑩ → (中央) 22 S	
36 分	阪南大学	榎 悠輔	中村 成龍	(右) ⑩ → (中央) ⑪ S		
分						
分						
分						
分						
分						

(略号例) ~ :ドリブル → :ゴロのパス ○ :浮球のパス H :ヘディング HS :ヘディングシュート X :混戦 S :シュート  
 オウンゴール こぼれ球 (中央) (右) (左) 直接FK 間接FK GK 右CK 左CK スローイン バー返り ポスト返り

戦評者氏名 ( 松 浦 祐 志 ) 勤務先又は所属 ( 大阪府立 門真西高等学校 )

阪南大高、市立尼崎共に1-4-4-2で開始。序盤は両チーム共に前線からのプレスを徹底する。阪南大高はFW⑩榎へのロングボールのこぼれ球からチャンスを作り、市立尼崎はFW⑩上野、FW⑪庄が裏のスペースへ動き出し、ボールを引き出す。中盤以降、市立尼崎のDFラインが下がり、1stDFが曖昧になる。阪南大高は19分に右サイドの崩しからMF⑩清藤が得点。FWと中盤が作ったスペースを見逃さずに奪った得点であった。得点後は攻撃のペースを若干落とすが1stDFの激しさは失わず前半は1-0で終了。  
 後半開始早々に、阪南大高はロングボールのこぼれ球をMF⑩中村が拾いFW⑪へ繋ぎ、ターンからのシュートが決まり、2-0となる。市立尼崎はボールを奪う位置が低く、間延びしてしまいFWにボールが収まらない。選手交代やシステム変更で状況を打開しようと試み、MF⑧玉城、FW①が前を向いた時にチャンスになるが、運動量が落ち厚みを持った攻撃が展開できないまま、試合終了となる。勝利した阪南大高は交代選手も含めて、戦術が徹底されていたのが印象的であった。敗れはしたが、最後まで粘り強く闘った市立尼崎の健闘を称えたい。